2020/7/28
（うと Q ブログ「笑の差」考）
SNS 投稿文で(笑）と書くのを英語では（lol）=laugh out loud だという事を今日初めて知りました。
で、そこから脇道的一考。
我が国では「ひとひねり」したジョークじゃないと余り受けませんが、外国の人は、どちらかというと、ひねりのない「ストレートなもの」を好むようです。
又、我が国では一回笑いを取ると、まるで全員がお笑い芸人にでもなったかのように「常に笑いを取らないといけない」と言うような強迫観念に陥ってしまう場合が多々あるようで、結果、却って固くなって何もジョークが言えなくなってしまうケースもありそうです。
「しらける」「すべる」「ひく」の言葉を想像しただけで体中金縛り＆頭の中が white out。
ところが外国の人は一回笑ったら、それはそれでおしまい。二回目があったら lucky、なければないで、それはそれで normal。
そもそも毎回ジョークなんて言えるものじゃない。時にはスベルし、しらけることも言うし、ひく思いもさせるだろうが、そんなの当たり前だから、気にする必要はないし、強要されるなんてあり得ないと。
理由は簡単
「だって自分はコメディアンじゃないんだから」
冒頭のひねりのないジョークが好きなのも「笑う時にまでアタマ使ってどうするの?
疲れるだけでリラックスできないなんて、考えられない」
それで、日本人が外国人の笑いの頻度の多さを見ると「そんな事で笑うなんて、どうなってんの？」と逆に不思議に思うのかもしれませんね。